

## 腎臓内科・血液浄化センター

名誉教授 阿部富彌  
教授 重松 隆  
講師 根木茂雄  
助手 坂口俊文・小田稔

### 研究概要

#### I. 腎機能障害進展調節（腎機能障害を抑制し、回復させる手段の構築）

1. 腎不全患者約1500例のデータから、腎不全の進行を加速する要因とその是正手段について検討し、降圧薬（ACEI, ARB）と経口吸着療法用炭素製剤との併用療法の意義を検討中である。一部の患者でみられる腎機能の回復についても解析中である。
2. カルシウム・リン管理とPTH制御の腎不全進行に及ぼす影響を腎不全モデルで検討し、calcimimeticsを投与するとPTH,カルシウム・リン積は著明に低下し、腎不全の進行は抑制された。今後は臨床での検討が期待される。
3. 腎機能障害を促進・あるいは修復する遺伝子の解明を目的に、腎不全病態で発現の変化する腎組織遺伝子とそれらの表原型を解析中である。

#### II 腎不全合併症とその修復

1. 副甲状腺カルシウム受容体（CaR）異常の2次性副甲状腺機能亢進症（2HPT）における病因的意義を解明するため、腎不全ラットの副甲状腺CaR、ビタミンD受容体発現と細胞増殖の関連と、これに及ぼす各種治療の影響を検討した。その結果、各種の治療手段が各々の機序で2HPTの発症・進展を調節できることが示された。
2. 無形成骨症の原因であるPTHに対する腎不全骨の抵抗性と、腎不全にもかかわらず十分なPTHが分泌されない機序を検討した。
3. 2HPTに関連する遺伝子異常について、2HPTラットと正常ラットの副甲状腺内遺伝子の相違から候補遺伝子の同定を試みている。
4. 難治性2HPT患者に活性型ビタミンD製剤を副甲状腺内に直接注入し、本法はエタノール局注法に匹敵する効果をより安全に達成できること、その過程に副甲状腺細胞アポトーシスの関与することを示した。
5. 血液透析患者の転帰と管理方法の関連に関する国際共同研究として、日、米、欧の国際研究を4年間にわたり実施し、その結果は次々と論文化している。
6. 新しい腎不全治療システムとして、連日短時間血液透析を導入し、その効果を多施設共同で検討した。その結果、本法は患者予後やQOLの向上につながる事が明らかにされ、本システムの在宅治療用機器開発を進めている。

#### ◇著書

1. 阿部貴弥：20 トリグリセライド（TG）透析患者の検査値ハンドブック 斉藤明 監：103-111, メディカ出版, 東京, 2006
2. 緒方浩顕・吉田典世：経口と静注ビタミンD製剤の使い分けは？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：112-116, 中外医学社, 東京, 2006
3. 緒方浩顕・吉田典世：二次性副甲状腺機能亢進症を合併していないにもかかわらず、高Ca血症が持続

しているでしょうか？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：117-120, 中外医学社, 東京, 2006

4. 上田俊郎：透析用のカテーテルがどうしても挿入できない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：24-27, 中外医学社, 東京, 2006
5. 上田俊郎：シャント側の手が腫れてきた、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：41, 中外医学社, 東京, 2006
6. 崎久保悦男：PTA 施行の際、ガイドワイヤーが通過しない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：44-46, 中外医学社, 東京, 2006
6. 崎久保悦男：PTA 施行の際、ガイドワイヤーは通過したが、バルーンカテーテルが通過しない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：47-49, 中外医学社, 東京, 2006
7. 溝渕正英・佐藤壽浩・嶋渡：リンのコントロールがどうしてもつかない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：107-111, 中外医学社, 東京, 2006
8. 角田隆俊：副甲状腺の局在診断は、どうすればよい？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：121-124, 中外医学社, 東京, 2006
9. 溝渕正英・北端有紀子・嶋渡：本来なら PTx の適応となるが、合併症があり全身麻酔はリスクが高い、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：128-130, 中外医学社, 東京, 2006
10. 阿部貴弥・深川雅史：リクセルの適応と効果は？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：149-151, 中外医学社, 東京, 2006
11. 長谷川裕人・秋澤忠男：皮膚の色調が気になる、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：173-174, 中外医学社, 東京, 2006
12. 阿部貴弥・深川雅史：ASO による難治性潰瘍を伴い、疼痛が著明、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：200-204, 中外医学社, 東京, 2006
13. 小田稔・秋澤忠男：突然に聴力が低下した、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：214-216, 中外医学社, 東京, 2006
14. 半羽慶行・秋澤忠男：血糖管理ができない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：248-252, 中外医学社, 東京, 2006
15. 長谷川裕人・秋澤忠男：アシドーシスの管理ができない、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：257-259, 中外医学社, 東京, 2006
16. 根木茂雄・秋澤忠男：原因不明の発熱が続く、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：270-273, 中外医学社, 東京, 2006
17. 根木茂雄・秋澤忠男：透析導入後、透析後の発熱が出現する、どうしよう？（炎症は認めず、感染は否定的） 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：274-275, 中外医学社, 東京, 2006
18. 根木茂雄・秋澤忠男：透析中に誤って空気が体内へ入ってしまった、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：276-278, 中外医学社, 東京, 2006
19. 小田稔・秋澤忠男：血液回路が凝固する、あるいは残血が多い、どうしよう？ 透析療法 これは困ったぞ、どうしよう！ 秋澤忠男 編：279-281, 中外医学社, 東京, 2006

#### ◇総説

1. 椎崎和弘・中澤あい・秋澤忠男：特集 電解質異常への対応 Ca と P はなぜ一緒に考える必要があるのか- Ca 調節系とその役割- 腎と透析 60:32-35,2006
2. 重松隆・半羽慶行・國本健・柴田真希：3.PTH アッセイの歴史と展望 腎と骨代謝 19:207-214,2006
3. 國本健・岡田規・重松隆：連載 骨粗鬆症 Q&A Q.34 透析患者にビスフォスフォネート製剤は使用できるのでしょうか？ 骨粗鬆症治療 5:331-333,2006
4. 飛田美穂：栄養学の基礎知識- 栄養素とその役割、消化吸収とそのしくみ、エネルギー代謝、脂質代謝 ナーシング4 (増刊号) 12-35,2006
5. 林真理子・秋元とし子・飛田美穂・稲光禮子・松木秀明：女子学生の隠れ肥満と生活習慣に関する研究

- 生活習慣・健康状態および骨代謝に焦点をあてて- 薬理と臨床 16:115-132,2006
6. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第20回皮膚疾患と看護 薬理と臨床 16:73-89,2006
  7. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第21回眼・耳鼻・口腔疾患と看護 薬理と臨床 16:91-102,2006
  8. 飛田美穂・泉義雄：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第22回女性生殖器および乳房疾患と看護 薬理と臨床 16:165-192,2006
  9. 飛田美穂・泉義雄：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第23回母性看護学 薬理と臨床 16:193-223,2006
  10. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第24回公衆衛生と社会福祉 薬理と臨床 16:313-326,2006
  11. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第25回関係法規 薬理と臨床 16:327-343,2006
  12. 飛田美穂・泉義雄：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第26回小児疾患と看護 薬理と臨床 16:407-453,2006
  13. 飛田美穂・泉義雄：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第27回救命・中毒・脳死・麻酔および臨床検査と看護 薬理と臨床 16:455-494,2006
  14. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第28回成人看護学総論 薬理と臨床 16:591-597,2006
  15. 泉義雄・飛田美穂：予想問題から学ぶ看護国試の要点暗記 第29回在宅看護論 薬理と臨床 16:599-606,2006
  16. 坂口俊文：【血液浄化療法入門 原理と臨床】持続的血液浄化の歴史・原理・臨床 Clinical Enginnering 17:448-454,2006
  17. 坂口俊文・秋澤忠男：血液浄化法 新しいエリスロポエチン製剤 Annual Review 腎臓 2006 142-148,2006
  18. 角田隆俊：副甲状腺摘出術 臨床透析 122:93-100,2006
  19. 阿部貴弥・横山朋大・深川雅史：急性血液浄化法徹底ガイド Q15：血漿交換 (PE,CPE) 救急・集中治療 18:70-77,2006
  20. 阿部貴弥・横山朋大・深川雅史：急性血液浄化法徹底ガイド Q43：ECAD (extracorporeal albumin dialysis) ・アルブミン透析 救急・集中治療 18:235-240,2006
  21. 竹田陽子・阿部貴弥・深川雅史：腎性貧血の治療 Medicina 43:496-498,2006
  22. 大谷晴久：慢性腎臓病 (CKD) - 腎疾患診療における新しい概念- 日本臨床内科医会雑誌 20:449,2006
  23. 緒方浩顕・衣笠えり子・伊藤英利：EBM がもたらしたもの、めざすもの、EBM は臨床現場を変えることができたか- 腎疾患- EBM ジャーナル 7:80-84,2006
  24. 緒方浩顕・前田千晶・山本真寛・衣笠えり子：特集 今日の腎性骨異常栄養症 VII ROD 治療薬の適正使用と問題点 臨床透析 22:77-84,2006
  25. 緒方浩顕・中澤あい・衣笠えり子・秋澤忠男：慢性腎不全 (透析) 患者の老化とアンチエイジング 腎と透析 60:1013-1017,2006
  26. 緒方浩顕・伊藤英利・秋澤忠男：最近の透析療法の問題点 腎と透析 60:697-700,2006
  27. 緒方浩顕・前田千晶・山本真寛・衣笠えり子：縦隔内異所性副甲状腺の検出に  $^{99m}\text{Tc}$ -methoxyisobutyl isonitrile シンチグラフィが有用であった二次性副甲状腺機能亢進症の再発症例 臨床透析 22:1173-1177,2006
  28. Ogata H, Koiwa F, Ito H, Kinugasa E :Therapeutic strategies of secondary hyperparathyroidism in dialysis patients. Ther Apher Dial. 10:355-363,2006
  29. 重松隆・坂口俊文・根木茂雄：非アルミニウム非カルシウム性リン吸着薬である炭酸ランタン (Lanthanum Carbonate) 臨床透析 22:778-781,2006

30. 根木茂雄・秋澤忠男：【図解 クリティカルケアに必要なモニタリング Q&A】各種モニタリング機器の臨床的意義 何のためにモニタするか？生命維持管理装置に関連するモニタリング 血液浄化装置 救急・集中治療 18:479-482,2006
31. 根木茂雄・龍田浩一・秋澤忠男：【急性血液浄化法 徹底ガイド】急性血液浄化法の実際 急性血液浄化法における抗凝固薬 救急・集中治療 18:88-91,2006
32. 根木茂雄・中澤あい・秋澤忠男：【急性血液浄化法 徹底ガイド】急性血液浄化法の実際 血液透析 (CHDとHD) 救急・集中治療 18:55-58,2006
33. 根木茂雄・秋澤忠男：医学と医療の最前線 腎性貧血の治療 日本内科学会雑誌 95:140-147,2006
34. 重松隆・半羽慶行・國本健・柴田真希：【新たな PTH の意義】PTH アッセイの歴史と展望 腎と骨代謝 19:207-214,2006
35. 重松隆：治療法 新規リン吸着薬 炭酸ランタン Annual Review 腎臓 2006 254-258,2006

◇原著

1. Shiizaki K, Negi S, Hatamura I, Tatsuta K, Shibata M, Shimada S, Sakaguchi T, Akizawa T: Direct injection of calcitriol or its analog into hyperplastic parathyroid glands induces apoptosis of parathyroid cells. *Kidney Int.* 70 (supple 102) 12-15,2006
2. Shiizaki K, Hatamura I, Negi S, Sakaguchi T, Saji F, Kunimoto K, Okamoto M, Imazeki I, Muragaki Y, Akizawa T: Direct maxacalcitol injection into hyperplastic parathyroids improves skeletal changes in secondary hyperparathyroidism. *Kidney Int.* 70:486-495, 2006
3. 飛田美穂・倉田康久・武林祥裕：療養病床における血液透析患者死亡例の検討 東海大学短期大学紀要 第39号 25-30,2006
4. 飛田美穂・倉田康久・武林祥裕：療養病床に入院中の血液透析患者の特徴に関する研究- 栄養状態の側面からの検討 東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集第15号 12-21,2006
5. 山本向三・飯塚万利子・近藤章生・岩下賢一・梅澤慶紀・太田幸則・松山孝・小澤明・守田誠司・猪口貞樹・角田隆俊・斉藤明・原田三喜夫：呼吸器合併症を伴った中毒性表皮壊死症の1例 皮膚科の臨床 48:33-36,2006
6. 竹田陽子・阿部貴弥・藤井秀毅・土橋大輔・土岐岳士・中西昌平・梅津道夫・深川雅史：含糖酸化鉄投与により低リン血症を認めた1症例 腎と骨代謝 19:269-274,2006
7. Nishi H, Abe T, Kita A, Noda N, Tsuchihashi T, Abe T, Umezu H, Yokozaki H, Fukagawa M: Cerebral enous thrombosis in adult nephrotic syndrome due to systemic amyloidosis. *Clinical Nephrology* 65:61-64,2006
8. Fukagawa M, Nakanishi S, Fujii H, Hamada Y, Abe T: Regulation of parathyroid function in chronic kidney disease (CKD). *Clin Exp Nephrol* 10:175-179,2006
9. Mizobuchi M, Ogata H, Hatamura I, Koiwa F, Saji F, Shiizaki K, Negi S, Kinugasa E, Ooshima A, Koshikawa S, Akizawa T: Up-regulation of Cbfa1 and Pit-1 in calcified artery of uraemic rats with severe hyperphosphataemia and secondary hyperparathyroidism. *Nephrol Dial Transplant* 21:911-916,2006
10. Ogata H, Koiwa F, Takahashi J, Takahashi K, Shiokawa A, Kitanosono T, Kinugasa E, Taguchi S: Cystic b2-micoglobulin amyloidoma in a patient on long-term hemodialysis. *Clin Exp Nephrol.* 10:159-161,2006

◇学会報告

a) 国際学会

1. Shiizaki K, Hatamura I, Negi S, Sakaguchi T, Saji F, Kunimoto K, Imazeki I, Muragaki Y, Akizawa T: Direct maxacalcitol injection into hyperplastic parathyroids improves skeletal changes caused by secondary hyperparathyroidism in experimental uremic rats. 28th Annual Meeting

- of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006.9.15-19. Philadelphia
2. Shiizaki K, Negi S, Sakaguchi T, Kunimoto K, Okamoto M, Imazeki I, Hatamura I, Akizawa T: Successful treatment of very severe osteitis fibrosa with normalization of hyperplastic parathyroid gland in uremic rats. 43th Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association. 2006.7.15-18. Glasgow
  3. Hatamura I, Negi S, Suemoto H, Shiizaki K, Sakaguchi T, Nishioka K, Itoh S, Akizawa T, Shigematsu T, Muragaki Y: The cloning and identification of novelty expressed gene in mainly parathyroid chief cells with secondary hyperparathyroidism human patients. 39th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2006.11.14-19. San Diego.
  4. Shiizaki K, Hayakawa N, Imazeki I, Hatamura I, Negi S, Sakaguchi T, Muragaki Y, Shigematsu T, Kato S, Akizawa T: Vitamin D receptor independent localization and signaling pathway of maxacalcitol in parathyroid cell. 39th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2006.11.14-19. San Diego.
  5. Nakanishi S, Kono-Nii T, Takeda Y, Tsuchihashi D, Fujii H, Toki T, Abe T, Umezu M, Kurosawa T, Fukagawa M: Serum FGF23 level parathyroid hyperplasia: useful markers for the evaluation and prognosis of secondary hyperparathyroidism in chronic dialysis patients. 43th Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association. 2006.7.15-18. Glasgow
  6. Fujii H, Kim IJ, Abe T, Umezu M, Fukagawa M: Correlation between parathyroid hormone and cardiac abnormalities in chronic kidney disease patients on maintenance hemodialysis. 43th Congress of the European Renal Association European Dialysis and Transplant Association. 2006.7.15-18. Glasgow
  7. Minami Y, Otani H, Ohya M, Yukawa S, Tone Y, Fujii R, Mune M: Influence of tonsillectomy on the recurrence of clinical remission in patients with IgA nephropathy after undergoing steroid pulse therapy. 11th International Symposium on IgA Nephropathy. 2006.10.7.Tokyo
  8. Ogata H, Yamamoto M, Ito H, Koiwa F, Kinugasa E, Taguchi S, Akizawa T: Cell Cycle and Expression of Vitamin D Receptor and p21 in Renal Parathyroid Hyperplasia- Flow Cytometric Analysis (FCM). 39th Annual Meeting of American Society of Nephrology. 2006.11.14-19. San Diego.
- b) シンポジウム・学術講演等
1. 重松隆：特別講演「血管石灰化とリン過剰の意味を考える」 第67回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  2. 重松隆：ワークショップ「カルシウムとリンを適正におさめるための道具（ツール）」 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
  3. 重松隆・吉田啓：分かりやすい腎臓病・透析教室16「分かりやすい心血管合併症の現状と治療」 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
  4. 重松隆：ランチョンセミナー「PTH 測定の変遷と将来」- PTH はどの測定法を選べば良いのか?- 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
  5. 重松隆：ディベート・セッション「透析液カルシウム濃度の適正値～3.0mEq/L を勧める～」 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
  6. 椎崎和弘：シンポジウム「副甲状腺インターベンション研究会ガイドライン 2006年版」 活性型ビタミンD直接注入療法（PCIT/PMIT） 第11回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  7. Shigematsu T: Symposia III 「The pathogenesis of 2-HPT in CKD」 24th Annual Meeting of the International Society of Blood Purification. 2006.9.8-10. Nara
  8. 重松隆：ランチョンセミナー「透析患者における検査の見方・考え方」 第13回近畿地区臨床工学フォーラム 2006.11.5. 和歌山
  9. 飛田美穂：シンポジウムI「腎不全医療におけるターミナルケア」 1. 療養病床における血液透析患者の実態から～いかにして死を看取るか～ 第17回日本サイコネフロロジー研究会 2006.6.4. 三島
  10. 阿部貴弥・長谷川裕人・織田ひかり・上村元洋・北端有紀子・成川暢彦・小畑拓嗣・阿部富彌・深川雅史：シンポジウム3「肝不全治療におけるアルブミン透析〈Extracorporeal albumin dialysis: ECAD〉の適応」 第26回日本アフェレシス学会学術大会 2006.7.28-29. 大津市

- 1 1. 阿部貴弥・篠崎真紀・椎崎和弘・打田和宏・中敏夫・阿部富彌・篠崎正博・深川雅史：ワークショップ5「アルブミン透析 (Extracorporeal albumin dialysis: ECAD) の基礎と臨床」 第26回日本アフェレシス学会学術大会 2006.7.28-29. 大津
- 1 2. 阿部貴弥・阿部富彌・上村元洋・小畑拓嗣・打田和宏・長谷川裕人・重松隆・深川雅史：ワークショップ「アルブミンを吸着剤として利用した血液浄化療法 extracorporeal albumin dialysis(ECAD)」 第17回日本急性血液浄化学会学術集会 2006.10.6-7. 広島
- 1 3. 阿部貴弥：シンポジウムI「アルブミン透析 (extracorporeal albumin dialysis: ECAD) について- アルブミンの多分子結合能を用いた新しい血液浄化療法」 2006年薬物動態談話会10月特別例会 2006.10.26-27. 浜松
- 1 4. 阿部貴弥・阿部富彌・上村元洋・小畑拓嗣・打田和宏・長谷川裕人・飛田美穂・重松隆・深川雅史：シンポジウム3「アルブミン結合尿毒素へのアプローチ- 腸内細菌叢由来アルブミン結合尿毒素の検討-」 第44回日本人工臓器学会 2006.10.31-11.2. 横浜
- 1 5. 緒方浩頭・山本真寛・吉田典世・中澤あい・熊田千晶・伊藤英利・衣笠えり子：パネルディスカッション「急性血液浄化における HDF 療法 急性血液浄化における IRRT と CRRT の適応と有用性」 第12回 HDF 研究会 2006.10.28. 横浜
- 1 6. 大谷晴久：症例紹介 第5回腎疾患勉強会 2006.7.6. 和歌山
- 1 7. 椎崎和弘：コメンテーター「目標とする PTH 値を考える」 Interactive TV Forum 200601201. 和歌山
- 1 8. 大谷晴久：特別講演「腎炎の検査の見方と新しい治療法」 田辺市・日高・西牟婁郡三医師会学術講演会 2006.3.18. 田辺市
- 1 9. 大谷晴久：特別講演「腎保護のための血圧管理と食事療法」 和歌山透析食部会学術勉強会 2006.4.21. 和歌山
- 2 0. 重松隆：講義「透析患者における検査成績の見方・考え方」 平成18年度透析療法従事職員研修会 2006.7.15. さいたま
- 2 1. 大谷晴久：「当院における慢性腎臓病の血圧管理」第362回和歌山市医師会内科部会例会（第5回腎疾患勉強会） 2006.7.6. 和歌山
- 2 2. 大谷晴久：「メタボリックシンドロームとその管理」 伊都郡特定給食施設連絡協議会講演会 2006.7.14. 橋本
- 2 3. 大谷晴久：特別講演「腎症管理について- 血圧管理と食事療法-」 第1回糖尿病腎症をかたる会 2006.7.18. 和歌山
- 2 4. 大谷晴久：特別講演「腎炎の検査の見方と新しい治療法」 日高医師会学術講演会 2006.11.8. 御坊
- 2 5. 大谷晴久：「慢性腎炎の最新の治療- IgA 腎炎根治可能となった-」 伊都医師会診療懇話会 2006.11.15. かつらぎ町
- 2 6. 重松隆：特別講演「腹膜透析における栄養管理とカルシウム・リン代謝」 第6回函館腹膜透析研究会 2006.7.15. 函館
- 2 7. 重松隆：特別講演「エリスロポエチン治療を考える」 第8回道北透析懇話会 2006.7.16. 旭川
- 2 8. 重松隆：「透析患者の高リン血症」 長崎県骨代謝研究会 2006.10.7. 長崎
- 2 9. 重松隆：「リンをもう一度考えよう」第3回奈良県医師会透析部会透析骨症分科会 2006.12.9. 奈良
- 3 0. 重松隆：特別講演「二次性副甲状腺機能亢進症の治療ガイドライン- 高リン血症治療を中心に-」 第4回静岡腎と栄養研究会 2006.12.16. 静岡

#### c) 全国学会

1. 重松隆・柳沼樹宏・山岸弘子・平野景太・早川洋・河野孝史・吉田豊彦・細谷龍男：1-84PTH に対する骨の反応性は1-84PTHが高いほど低下する 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
2. 椎崎和弘・畑村育次・根木茂雄・坂口俊文・小田稔・秋澤忠男：副甲状腺細胞における新規ビタミン D シグナル伝達の可能性 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
3. 高見博弥・秋山真一郎・岩崎洋一・後藤善和・重松隆：動脈硬化症進行例は血管石灰化も進んでいる 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
4. 藤村啓介・後藤雅宏・武田稔男・内野順司・河野孝史・重松隆・吉田豊彦：PES-210DE と APS-21S の臨床性能評価～血中濃度、除去量、クリアスペース (CS) の経時変化からの検討～ 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜

5. 宮川浩之・江上定仁・落合秀樹・早川洋・松岡美佳・相澤良夫・仁田坂謙一・重松隆：吸着法白血球除去療法難治症例に対するヘパリンを使用した遠心法白血球除去療法（CFLA）の試み 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
6. 重松隆・高見博弥・清水辰雄・下山博身・金成洙・廣瀬悟・坂井健彦・河野孝史・望月隆弘・西尾恭介・出川寿一・宮本善恢：EPO-β週1回静脈内投与による腎性貧血改善の維持効果の検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
7. 岩崎洋一・山口喜移・武田好広・谷雅秀・高見博弥・鈴木徹・後藤博道・後藤善和・重松隆：エリスロポエチン（EPO）投与マニュアルの検討（普遍性と施設応用の検討） 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
8. 江上定仁・宮川浩之・落合秀樹・今井勝・早川洋・山岸弘子・平野景太・仁田坂謙一・重松隆：生体情報モニターとしての血液回路ピロー部における酸素飽和度測定の臨床評価 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
9. 後藤雅宏・武田稔男・内野順司・河野孝史・重松隆・今津曄・吉田豊彦：適正除水量の指標にクリットラインモニターのBV%積算値（ΣBV%）を用いた新しい試み 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
10. 武田稔男・鈴木一哉・内野順司・河野孝史・重松隆・吉田豊彦：血液透析患者における1年間のK/DOQIガイドライン達成率 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
11. 河野孝史・内野順司・武田稔男・村上康一・坂井健彦・重松隆・今津曄・吉田豊彦：透析低血圧を呈する血液透析患者における循環動態と対処法の検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
12. 村上康一・内野順司・佐藤賢一・河野孝史・重松隆・宮下洋・吉田豊彦・白井厚治：維持透析患者におけるAACAA（aortic arch calcification area）の年間進行因子に関する検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
13. 高見博弥・秋山真一郎・岩崎洋一・後藤善和・重松隆：女性透析患者におけるEtidronateとSERMのBMD保護効果 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
14. 重松隆：新規リン吸着剤の炭酸ランタン（BAY77-1931）のプラセボ対照、多施設、無作為化、二重盲検、用量群間比較試験 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
15. 河野孝史・内野順司・武田稔男・村上康一・坂井健彦・横山啓太郎・重松隆・吉田豊彦：血液透析患者における大動脈弓部石灰化（Aortic arch calcification Score:AACS）と心臓弁石灰化との関連性の検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
16. 高山奈津紀・熊切こず恵・武田稔男・内野順司・河野孝史・横山啓太郎・重松隆・吉田豊彦：透析患者の心拍変動解析による自律神経機能に関する検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
17. 鈴木一哉・武田稔男・内野順司・河野孝史・横山啓太郎・重松隆・吉田豊彦：維持透析患者における血清Ca、Pi値の季節変動の検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
18. 武田稔男・鈴木一哉・内野順司・河野孝史・重松隆・吉田豊彦：透析前血清リン値の1年間のばらつきの検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
19. 重松隆・鈴木一哉・武田稔男・内野順司・村上康一・坂井健彦・河野孝史・吉田豊彦・細谷龍男：維持血液透析患者における長期の血清補正Ca濃度（cCa）の経時的変化 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
20. 村上康一・原理恵・熊切こず恵・武田稔男・坂井健彦・河野孝史・重松隆・吉田豊彦：同一部位への反復穿刺がシャントに与える影響について 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
21. 内野順司・藤村啓介・武田稔男・河野孝史・伊達敏行・横山啓太郎・重松隆・吉田豊彦：血液透析中のCa出納因子に関する検討 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
22. 重松隆・武田稔男・内野順司・河野孝史・吉田豊彦・細谷龍男：PTHは血漿より血清検体による測定を推奨する 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
23. 重松隆・内野順司・武田稔男・河野孝史・吉田豊彦・細谷龍男：新規intact-PTH測定系であるElecsys PTH値と他の3つのPTH測定系との比較 第51回（社）日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
24. 原理恵・内野順司・武田稔男・市村美恵子・村上康一・河野孝史・重松隆・吉田豊彦：シャントトラブルの危険因

子の検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜

25. 後藤雅宏・小川哲男・武田稔男・内野順司・河野孝史・重松隆・今津暉・吉田豊彦：クリットラインモニタ血液チャンパーの取り付け位置の違いはBV%を変化させるか 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
26. 内野順司・高桑守・武田稔男・河野孝史・重松隆・宮下洋・吉田豊彦・白井厚治：新しい血管機能検査 CAVI (Cardio Ankle Vascular Index) の透析時の変動に関する検討 (1/3) 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
27. 内野順司・高桑守・武田稔男・河野孝史・重松隆・宮下洋・吉田豊彦・白井厚治：新しい血管機能検査 CAVI (Cardio Ankle Vascular Index) の透析時の変動に関する検討 (2/3) 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
28. 内野順司・高桑守・武田稔男・河野孝史・重松隆・宮下洋・吉田豊彦・白井厚治：新しい血管機能検査 CAVI (Cardio Ankle Vascular Index) の年間進行因子に関する検討 (1/3) 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
29. 田中元子・伊藤和子・橋口純一郎・船越哲・中野広文・久保仁・河野孝史・正木一伸・伊達敏行・重松隆：透析患者の高リン血症に対する塩酸セベラマーと炭酸カルシウム併用療法の有効性の検討- K/DOQI ガイドラインを用いて 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
30. 坂井健彦・内野順司・武田稔男・村上康一・河野孝史・横山啓太郎・重松隆・吉田豊彦：静注 VitD パルス施行症例による血清 Ca および Pi 値の4年間の経時的変動についての後向き cofort 検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
31. 重松隆・河野孝史・内野順司・武田稔男・細谷龍男・吉田豊彦：PTH フラグメント化はビタミン D 療法でなく血清 Ca 値が影響する 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
32. 河野孝史・内野順司・武田稔男・村上康一・坂井健彦・重松隆・吉田豊彦：低 PTH 透析患者における PTH の経時変動の検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
33. 稲山えみ・友寄有香・柴田真希・半羽慶行・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・秋澤忠男・中山智祥・高橋輝行・赤松啓一郎・南方良章：Nested PR により診断し得た透析患者の結核性胸膜炎の一例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
34. 椎崎和弘・深川雅史・畑村育次・根木茂雄・坂口俊文・秋澤忠男：進行した二次性副甲状腺機能亢進症に対する遺伝子導入治療の可能性 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
35. 坂口俊文・大浦真紀・岡本昌典・中澤あい・椎崎和弘・小田稔・根木茂雄・懸高昭夫・玉井定子・園部美弥彦・秋澤忠男：頻回のシャント狭窄と患者背景の検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
36. 岡本昌典・大浦真紀・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・阪口臨・中熊秀樹・園部美弥彦・玉井定子・秋澤忠男：後天性血友病を合併した透析患者の一例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
37. 半羽慶行・稲山えみ・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・小畑拓嗣・根木茂雄・秋澤忠男：PTX 後の残存副甲状腺に対し PEIT が有効であった2症例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
38. 大浦真紀・柴田真希・半羽慶行・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・柑本康夫・新家俊明・秋澤忠男：診断が困難であった腎細胞癌の一例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
39. 岡田規・坂口俊文・龍田浩一・中澤あい・小田稔・椎崎和弘・根木茂雄・森喬史・新家俊明・秋澤忠男：維持透析患者に合併した腎動静脈瘻・腎動脈瘤の1例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
40. 龍田浩一・大浦真紀・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・秋澤忠男・平井一成・岡村吉隆：肺胞出血を合併した維持血液透析患者の一例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
41. 島田紗千子・椎崎和弘・岡本昌典・浜崎嘉明・坂口俊文・根木茂雄・木下敬之助・秋澤忠男：内シャント吻合部狭窄に対しカッティングバルーンによる PTA が効果的であった2症例 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
42. 森本好美・宮本和子・大岡敦子・高垣裕彦・北野拓志・柳瀬美穂・木村圭吾・児玉直也・児玉敏宏・前田明文：高



度視力障害を伴った糖尿病透析患者の自己管理について 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会  
2006.6.23-25. 横浜

- 4 3. 藤井秀毅・吉矢邦彦・金鐘一・土橋大輔・竹田陽子・土岐岳士・中西昌平・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：透析患者における心房細動の特徴 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 4 4. 竹田陽子・吉矢邦彦・土橋大輔・土岐岳士・中西昌平・阿部貴弥・梅津道夫・岡伸俊・深川雅史：頸部リンパ節結核を合併した血液透析患者の検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 4 5. 阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：抗凝固剤が透析患者のカルニチンに及ぼす影響について 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 4 6. 横山朋大・木下誠吾・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：新たな血漿交換療法の考案～透析された新鮮凍結血漿を置換液として用いた血漿交換療法の基礎的検討～ 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 4 7. 飛田美穂・倉田康久・武林祥裕：維持血液透析患者の栄養評価と栄養管理 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
- 4 8. 倉田康久・武林祥裕・飛田美穂：療養病床に入院を余儀なくされた下肢切断患者の検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 4 9. 静間徹・福山直人・重城志緒・木村剛爾・明神和紀・中澤博江・飛田美穂・倉田康久・武林祥裕：光刺激による血液透析患者好中球のSuperoxide生成 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 5 0. 静間徹・福山直人・重城志緒・木村剛爾・明神和紀・中澤博江・飛田美穂・倉田康久・武林祥裕・盛英三：遮光透析による血清AGEs値の推移 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 5 1. 曾我直弘・倉田康久・小室智子・三嶋そのみ・伴弘実・真柄圭・林大樹・松田靖子・成田弘昭・堀本久美子・武林祥裕・飛田美穂：療養病床入院血液透析患者の合併症およびターミナルケアに関する検討 第51回(社)日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.23-25. 横浜
- 5 2. 飛田美穂・倉田康久・武林祥裕：透析患者の脂質代謝に関する検討 第28回日本臨床栄養学会総会・第27回日本臨床栄養協会総会第4回連合大会 2006.9.1.東京
- 5 3. 土橋大輔・田中元子・伊藤和子・河野智子・駒場大峰・阿部貴弥・松下和孝・深川雅史：血液透析患者における鉄代謝とヘプシジンの検討 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
- 5 4. 中西昌平・竹田陽子・土橋大輔・藤井秀毅・土岐岳士・河野智子・阿部貴弥・梅津道夫・黒澤斌・深川雅史：二次性副甲状腺機能亢進症の予後と血清FGF23値および副甲状腺腫大の関係 第48回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
- 5 5. 北浦圭介・西岡千春・吉村兼・木下誠吾・横山朋大・阿部貴弥・深川雅史・白坂大輔・青山伸郎：潰瘍性大腸炎(ulcerative colitis:UC)における白血球除去療法(Leukocytapheresis:LCAP)の治療的位置付けについての検討 第26回日本アフェレシス学会学術大会 2006.7.28-29. 大津
- 5 6. 大矢昌樹・大谷晴久・南良暢・刀禰佳典・古田陽子・平野浩子・射手矢巖・雑賀保至・藤井良一・湯川進：慢性腎臓病(CKD)患者における脈派伝導速度(PWV), 心電図RR間隔変動係数(CVRR)の検討 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14-16. 東京
- 5 7. 緒方浩頭・山本真寛・吉田典世・中澤あい・伊藤英利・衣笠えり子・田口進：急性腎不全に対するIRRTとCRRTの適応と有用性 日本医工学治療学会第22回学術大会 2006.4.22.福岡
- 5 8. 緒方浩頭・宍戸寛治・小岩文彦・宇田晋・衣笠えり子・田口進・秋澤忠男：二次性副甲状腺機能亢進症に対する活性型ビタミンD誘導体Maxacalcitol、Falecalcitriolの効果- Calcitriolとの比較対照試験 第103回日本内科学会総会 2006.4.15. 横浜
- 5 9. 宍戸寛治・高橋恵子・西原正博・灰塚尚敏・朝倉裕士・中島豊・若狭幹雄・緒方浩頭・衣笠えり子・秋澤忠男：副甲状腺摘除(PTX)が骨密度(BMD)に与える影響 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14. 東京
- 6 0. 山本真寛・緒方浩頭・吉田典世・伊藤英利・三上哲弥・三代川章雄・衣笠えり子・田口進：難治性腹水症例に対する腹水濃縮腹腔内投与の効果 第49回日本腎臓学会学術総会 2006.6.14. 東京
- 6 1. 宍戸寛治・高橋恵子・西原正博・緒方浩頭・衣笠えり子・秋澤忠男：副甲状腺機能低下症(Hypo)に対する塩酸セベラマー(SH)の長期効果 第51回日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.24. 横浜
- 6 2. 吉澤恵子・稲田文恵・野川悟史・斎藤美智代・大石竜・佐藤宜伯・緒方浩頭・衣笠えり子・小林力：血液浄化室に

における医療事故防止対策について 第 51 回日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.24. 横浜

- 6 3. 伊藤英利・前田千晶・吉田典世・宍戸寛治・門倉義幸・緒方浩顕・衣笠えり子・田口進：副甲状腺摘除術(PTx)の臨床効果～アンケート調査から 第 51 回日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.24. 横浜
- 6 4. 高橋恵子・緒方浩顕・宍戸寛治・西原正博・若狭幹雄・衣笠えり子・秋澤忠男：血液透析患者における塩酸セベラマー(SH)投与の骨密度(BMD)への影響 第 51 回日本透析医学会学術集会・総会 2006.6.24. 横浜
- 6 5. 山本真寛・菊嶋修示・緒方浩顕・伊藤英利・吉田典世・小岩文彦・衣笠えり子・田口進：血漿交換療法(PE)が有効であった後天性血友病(AH)の 2 例 第 26 回アフェレンス学会学術大会 2006.7.28. 大津

#### d) 地方学会

1. 柴田真希・重松隆・阪口臨・前田明文・後藤哲也・児玉直也：Multicentric Castleman's disease による EPO 不応性貧血に対し、抗 IL-6 レセプター抗体(トシリズマブ)が有効であった例 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
2. 岡田規・坂口俊文・大浦真紀・國本健・小田稔・椎崎和弘・根木茂雄・重松隆：原発性副甲状腺機能亢進症と転移性骨腫瘍の併発による高 Ca 血症クリーゼを伴った腎機能障害例 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
3. 藤井秀毅・吉矢邦彦・駒場大峰・門口啓・北浦圭介・阿部貴弥・梅津道夫・竹内陽史郎・深川雅史：たこつぼ型心筋症をきたした慢性腎不全の 2 例 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
4. 竹田陽子・阿部文・駒場大峰・門口啓・北浦圭介・阿部貴弥・梅津道夫・市田公美：ネフローゼ症候群(NS)を呈し急性腎不全(ARF)に至った腎性低尿酸血症の 1 例 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
5. 門口啓・駒場大峰・北浦圭介・竹田陽子・藤井秀毅・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：急性腎不全をきたしたネフローゼ症候群 4 例の検討 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
6. 北浦圭介・駒場大峰・門口啓・竹田陽子・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：耳鼻咽喉科領域の化学療法後に低 Na 血症をきたした症例の検討 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
7. 駒場大峰・竹田陽子・門口啓・北浦圭介・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：広範囲に下肢静脈血栓症を発症したネフローゼ症候群合併血管型パーチェット病の一例 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
8. 大谷晴久・下出真知子・大矢昌樹・南良暢・刀禰佳典・雑賀保至・藤井良一・湯川進：慢性腎臓病患者の蛋白制限達成度評価の試み 第 3 6 回日本腎臓学会西部学術大会 2006.9.29-30. 熊本
9. 吉田典世・前田千晶・中澤あい・伊藤英利・緒方浩顕・菊嶋修示・坂下暁子・衣笠えり子・田口進：ネフローゼ症候群を来し、多彩な臨床症状を呈した多発性骨髄腫(MM)合併 AL アミロイドーシスの一症例 第 3 6 回日本腎臓学会東部学術集会 2006.11.3. 横浜
- 1 0. 山本真寛・中澤あい・中村明央・山崎智己・緒方浩顕・衣笠えり子・田口進：異所性石灰化を合併し尾骨部腫瘍をきたした維持透析患者の 1 例 第 3 6 回日本腎臓学会東部学術集会 2006.11.3. 横浜
- 1 1. 前田千晶・吉田典世・緒方浩顕・兼坂茂・木庭雄至・藤澤英文・衣笠えり子・田口進：心房細動(Af)に伴う腎梗塞に対して血管内治療が有効であった一症例 第 3 6 回日本腎臓学会東部学術集会 2006.11.3. 横浜
- 1 2. 中澤あい・前田千晶・山本真寛・伊藤英利・緒方浩顕・衣笠えり子・田口進：Cyclophosphamide (CP) 静注パルスと血漿交換が奏功した SLE に心外膜炎及び心筋障害を合併した一例 第 3 6 回日本腎臓学会東部学術集会 2006.11.3. 横浜

#### e) その他(研究会等)

1. 坂口俊文・大浦真紀・岡本昌典・懸高昭夫・龍田浩一・岡田規・中澤あい・椎崎和弘・小田稔・根木茂雄：頻回の PTA を必要とするシャント狭窄の検討 第 1 1 回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 2006.3.4. 東京
2. 椎崎和弘・浜崎嘉明・坂口俊文・岡本昌典・島田紗千子・木下敬之助・根木茂雄：内シャント吻合部狭窄に対しカッピングバルーンによる PTA が効果的であった 2 症例 第 1 1 回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 2006.3.4. 東京
3. 龍田浩一・根木茂雄・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・重松隆・廣川文鋭・篠崎正博・森義雄：維持透析患者に発症

- した門脈内ガス血症を伴う非閉塞性腸管虚血症 (NOMI) の一例 第 15 回腎不全外科研究会 2006.7.7-8. 新潟
4. 星山彩子・半羽慶行・貴岡正史: 原発性・二次性副甲状腺機能亢進症に対する PEIT 前後の whole PTH、CAP/CP の変動 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  5. 半羽慶行・岡田規・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆: 続発性副甲状腺機能亢進症の画像診断における頸部 CT 検査の有用性 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  6. 緒方浩顕・中澤あい・吉田典世・熊田千晶・山本真寛・衣笠えり子・門倉義幸・柳裕一郎: 2 次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) の摘除腺における細胞周期、vitaminD 受容体 (VDR) 及び p21 発現の解析- Flow cytometry (FCM) 解析を用いて 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  7. 半羽慶行・岡田規・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・河野孝史・吉田豊彦: 1-84PTH に対する骨の反応性についての検討 第 25 回腎と骨代謝研究会 2006.9.16. 東京
  8. 岡田規・半羽慶行・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・河野孝史・内野順司・武田稔男・吉田豊彦: PTH フラグメント化はビタミン D 療法ではなく血清 Ca 値が影響する 第 25 回腎と骨代謝研究会 2006.9.16. 東京
  9. 椎崎和弘・佐治史恵・根木茂雄・坂口俊文・重松隆・深川雅史・河野智子・Yuan Q・畑村育次・秋澤忠男: 活性型ビタミン D およびアナログの副甲状腺内直接注入は過形成副甲状腺の遺伝子発現異常を改善する 第 25 回腎と骨代謝研究会 2006.9.16. 東京
  10. 高橋恵子・宍戸寛治・西原正博・若狭幹雄・緒方浩顕・衣笠えり子・秋澤忠男: 血液透析患者における塩酸セベラマー (SH) 投与による骨密度 (BMD) への影響 第 17 回日本腎性骨症研究会 2006.2.25. 東京
  11. 石田 良・大嶋健三郎・油井健史・柳 裕一郎・門倉義幸・衣笠えり子・緒方浩顕・小岩文彦・洲崎春海: 下降不全上皮小体の 1 例 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  12. 緒方浩顕・中澤あい・吉田典世・熊田千晶・山本真寛・衣笠えり子・門倉義幸・柳裕一郎: 2 次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) の摘除腺における細胞周期、vitamin D 受容体 (VDR) 及び p21 発現の解析-Flow Cytometry (FCM) 解析を用いて 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  13. 門倉義幸・石田 良・島本久美子・柳 裕一郎・油井健史・大嶋健三郎・緒方浩顕・衣笠えり子・小岩文彦・洲崎春海: 当科における腎性上皮小体機能亢進症の検討-術後残存腺症例を中心として 第 11 回副甲状腺インターベンション研究会 2006.9.2. 東京
  14. 友寄有香: 肺出血に対して血漿交換が有効であったグッドパスチャー症候群の 1 例 第 38 回ネフロロジー・フォーラム和歌山 2006.1.21. 和歌山
  15. 坂本晃・松尾正喜・松本喜美代・國本健・北端有紀子・阿部富彌: 心肺蘇生に対するスタッフの意識改革を目指して 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  16. 梅本真輝雄・中垣勝行・前田淳子・星尾花菜子・谷端玲子・小久保操・木村久子・並松睦世・梅本さゑ・庄司宜子・坪井さやか・小畑拓嗣・風呂谷匡彦: 粟粒結核を発症した維持血液透析患者の看護を経験して 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  17. 峯玉哲詞・岡崎智哉・岡本まり子・成田ひとみ・興田吏香・川井麻衣・葛城加奈・長井寿子・大石恭子・鈴間孝臣・茂原治・中村秀也・小畑拓嗣: 透析室に専用のスリッパは必要か? 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  18. 柏井利彦: 2005 年新規透析導入患者アンケート報告 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  19. 黒田和久・中村由菜・大谷ひろ子・中村いつ子・畦智美紀・東敏朗・原田美凡・和平富枝・越村邦夫: 透析中に頻発する心室性期外収縮を抗不整脈剤、ドライウエイト調整に加え K 補正でコントロールした 1 例 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  20. 松村利家・具志堅舞子・原尚江・辻内政行・中西健悟・阿部泰代・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・児玉敏宏・前田明文: CAPD 横隔膜交通症の 2 例 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  21. 高橋真須江・岸本有里・北村清子・西里淳子・東海奈尾美・渡瀬多美子・半羽健二・島田紗千子・半羽慶行・根木茂雄: 当院における透析患者の妊娠を経験して 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  22. 山本八千代・宮本和子・前部佳子・井上美和・森本好美・大岡敦子・松浦希美・松田範子・高垣裕彦・柳瀬美穂・北野拓志・有本守・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・前田明文・児玉敏宏: 血液透析患者における動脈硬化の指標 CAVI (Cardio Ankle Vasular Index) についての検討 第 67 回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
  23. 橋本美和・橋本有紀・古田千佳・織田ひかり・上村元洋: 体重増加率と QOL の関係 第 67 回和歌山透析研究会

2006.4.16. 和歌山

24. 半羽慶行・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・根木茂雄：当院における続発性副甲状腺機能亢進症治療の現況（2001年～2005年） 第67回和歌山透析研究会 2006.4.16. 和歌山
25. 稲山えみ・友寄有香・柴田真希・半羽慶行・小田稔・椎崎和弘・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・赤松啓一郎・南方良章・秋澤忠男・中山智祥・高橋輝行：Nested PCRにより診断した透析患者の結核性胸膜炎の一例 第8回紀泉フォーラム 2006.7.1. 泉佐野
26. 友寄有香：224例の透析患者剖検例における心重量および血管石灰化に関する解析 第3回和歌山動脈硬化セミナー 2006.8.24. 和歌山
27. 山名真也・植木隼人・加太勇・中西健悟・辻内政行・中益彦・植田博明・土生川仁美・有馬三喜・高居俊文・有本守・木村圭吾・児玉直也・後藤哲也・児玉敏宏・前田明文：当院における災害対策への取り組み-災害対策教室を開催して- 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
28. 山田秀人・土井照雄・大上卓也・織田ひかり：紀南地区災害時透析患者支援ネットワークを立ち上げて 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
29. 池田千代子・梅本一美・北林豊文・坂本久香・谷端恵子・永井万智子・藤田寿実子・藪添明子・吉村幸代・半羽慶行・重松隆：和歌山県の透析患者における血清カリウム値の検討 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
30. 湯川実友希・休場敏弘・笹田純司・大平正典・平田輝・宇治田卓司：自動対応型透析監視装置を使用して 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
31. 池田拓洋・抜井雄二・古田和彦・森高裕・片山紀文・南方常夫・西岡平・島田紗千子・椎崎和弘：当院における透析用水の清浄化対策～RO装置と配管の消毒～ 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
32. 中西宏和・宮原崇・木村かるゑ・松本喜美代・北端有紀子・打田和宏・阿部富彌：ニプロセーフタッチ AVF ニードルの使用経験 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
33. 吉村幸代・坂本久香・平井健一・戎直志：外来透析患者にベッドサイド指導を試みて 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
34. 藤田寿実子・山岡慶之・永井万智子・阿部富彌・半羽慶行・重松隆：当院の透析患者の血清アルブミン値からみた栄養評価 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
35. 得津浩示・阪口圭志・牧野美鈴・森義雄・田村公之・稲山えみ・半羽慶行・重松隆：検査データのデジタル化への取り組み 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
36. 高垣裕彦・北野拓志・柳瀬美穂・有本守・木村圭吾・柴田真希・笹原寛・児玉直也・後藤哲也・前田明文・児玉敏宏：「透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン」に基づいた当院での検討 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
37. 笹原寛・児玉直也・木村圭吾・後藤哲也・前田明文・児玉敏宏：透析中の慢性C型肝炎患者に対しPEG-IFNの増量投与を行い著効した一例 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
38. 半羽慶行・稲山えみ・椎崎和弘・小田稔・坂口俊文・根木茂雄・重松隆・得津浩示・阪口圭志・森義雄・田村公之：カルシウム受容体作動薬（Calcimimetics）を服用している維持透析患者の3例 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
39. 柏井利彦：2005年末和歌山県における慢性透析療法の現況 和歌山透析研究会総会 2006.12.3. 和歌山
40. 黒田和久・中村由菜・大谷ひろ子・中村いつ子・畦智美紀・東敏朗・原田美凡・和平富枝・越村邦夫：透析中に頻発する心室性期外収縮をK補正でコントロールした1例 第43回三重県透析研究会 2006.2.12. 四日市市
41. 吉中四科子・駒場大峰・竹田陽子・門口啓・北浦圭介・藤井秀毅・阿部貴弥・阿部文・梅津道夫・深川雅史：妊娠後に広範囲に再発性深部静脈血栓症を認めたネフローゼ症候群の一例 第10回兵庫県腎疾患治療懇話会 2006.6.30 神戸
42. 北浦圭介・駒場大峰・門口啓・竹田陽子・藤井秀毅・阿部貴弥・梅津道夫・深川雅史：腸内細菌叢由来アルブミン結合尿毒素の検討 第18回兵庫県透析合同研究会 2006.10.29. 神戸
43. 大谷晴久・下出真知子・大矢昌樹・南良暢・湯川進・雑賀保至・平野浩子・刀禰佳典：当院における保存期腎不全の食事療法 第38回ネフロロジー・フォーラム和歌山 2006.1.21.和歌山
44. 前田千晶・山本真寛・中澤あい・吉田典世・伊藤英利・緒方浩顕・衣笠えり子・前田晃延：  
LDL-Apheresis (LDL-A)により急速に治療抵抗性が改善したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の1例

第39回神奈川腎研究会

2006.9.16. 横浜

◇研究費交付状況

1. 平成18年度科学研究費補助金（基盤研究C） 重松隆：新規リン利尿因子の血管障害に対するリン感受性受容体としての機能解析
2. 平成18年度科学研究費補助金（若手研究A） 椎崎和弘：過形成副甲状腺に対する遺伝子導入とアポトーシス誘導に関する分子生物学的研究